



2022年 歴史・文化に触れながら 記憶と記録を遺す!!

としまの「記憶の遺産」ツアー 長崎編

現在の豊島区の長崎地区は江戸時代の「長崎村」です。近郊農村としての姿を豊島区内でも最も長く残してきた地区です。村社である長崎神社をはじめ、農家にとって大切な水を「神頼み」する「雨乞い」の儀式や「五穀豊穡・悪疫退散」を祈る「舞」など、農村らしい村の伝統行事がしっかり伝承されてきました。また、江戸時代より輸送路の役割をもつ古道の清戸道（きよとみち）には当時の面影を見つける事が出来るでしょう。落葉樹の葉が赤や黄色に染まる霜月。小春日和の一日、長崎の文化と歴史を感じながら歩いてみませんか。

共催：公益財団法人としま未来文化財団

長崎まるわかり！ 「古道と千川上水跡」をまち歩き

詳しいコースは
裏面をご覧ください

豊島区の歴史と文化の街「長崎」。

「としま案内人長崎町」の分かりやすい解説とともに古道と千川上水跡を楽しく散策！魅力を再発見してください！

としまの`記憶の遺産、ツアー 長崎編

実施日時 11月5日(土) 13時~15時30分



WEB
申し込みは
こちらから

集合 西武池袋線「東長崎駅」改札口前に13時集合

解散場所 区民ひろば千早 (豊島区要町3-7-10)

定員 20人 **参加費** 1500円

配布資料 集合時に資料を配布します。

(千川上水まち歩きパンフ、まち歩きマップ、メンバー募集チラシ)

散策コース

13:00 参加者集合、挨拶、まち歩きの説明 →13:10 まち歩き開始
→13:11 東長崎駅前交番 →13:15 富士見荘跡
13:20 葛が谷分水跡 →13:30 萩山牧場跡 →13:40 千川通り、水番所跡
→13:50 西原不動尊 →14:10 サミットストア 東長崎店
→14:25 庚申塔 →14:45 千川親水公園
14:50 「区民ひろば千早」で紙芝居と動画鑑賞※
15:30 終了・現地解散



※「区民ひろば千早」集会室でNPO法人「はばたけ千早 語り部部会」制作の手づくり紙芝居「千川上水ものがたり」とNPO法人「としまの記憶」をつなぐ会製作の記録動画(千川上水編)を上映します。紙芝居の鑑賞時間約20分。記録動画上映は20分(予定)

お問い合わせ メール:npo@toshima-kioku.jp NPO法人「としまの記憶」をつなぐ会 吉田いち子 090-3570-6826

注意事項

- 散策の所要時間は約2時間30分です。動きやすい服装と歩きやすい靴でお越しください。
- 小雨決行です。(天気予報で判断。中止の場合は連絡します)
- 集合時に検温をさせていただきます。必要に応じてマスクの着用をお願いします。
- 発熱症状・体調の悪い方はご遠慮ください。
- 散策中の事故については責任を負いません。
- 出発前までに食事やトイレは済ませておいてください。

千川上水とは?

千川上水は5代將軍綱吉の時代に小石川白山御殿、湯島聖堂、上野東叡山寛永寺・浅草寺などへの通水、および江戸市中の飲み水を確保するために、玉川上水を分水した上水です。千川太兵衛、徳兵衛が工事を請負い、元禄9(1696)年に開鑿されました。

玉川庄右衛門・清右衛門らによって承応3(1654)年に完成した

玉川上水を現在の東京都武蔵野市境4丁目付近で分水したものの。分水された上水は武蔵野市と小金井市との市境を下り、練馬区→豊島区→板橋区を経た後に再び豊島区に入り巣鴨の溜池(西巣鴨2-39番街区 現千川上水公園)で本流が終わっています。元禄間もない宝永4(1707)年からは流域村々の農業用水、明治になると製紙工場の産業用水として利用されたが氾濫・汚染・道路の新設・拡張等で暗渠化が戦前から始まりました。



1950年頃の千川上水のながれ(桐本國次氏 提供)
現在の豊島区長崎5丁目19番街区のあたり
※現在、千川上水は暗渠化され、往来が激しい道路になっています。

「としま案内人長崎町」

平成29年度より長崎町(ながさきまち)は取り組みを開始しました。本会は「エリアガイドボランティアとしま案内人長崎町」と称し、ボランティアガイドの活動及び会員相互の資質向上や生涯学習の場とすることを目的とする団体です。
豊島区の長崎地域(旧長崎町)と近接地域を中心に活動しますが、隣接区も活動範囲です。

豊島区の地図をよく見ると鳥の形に似ているのです。

旧地域のエリアで各案内人が活動しています。

緑:旧長崎町 → としま案内人長崎町
黄:旧西巣鴨町 → としま案内人大塚物語る
桃:旧巣鴨町 → としま案内人駒込・巣鴨
青:旧高田町 → としま案内人雑司ヶ谷



NPO法人はばたけ千早語り部部会 手作り紙芝居「千川上水ものがたり」

「次世代につなごう豊島の今昔」世代間交流を通じて、活力のある地域社会及び豊かなコミュニティの実現に貢献するというNPO法人はばたけ千早。

平成22年度から活動開始し紙芝居の第1作「はたけものがたり」、第2作「ちいさい桶(民話)」そして「千川上水ものがたり」は第3作目の紙芝居です。千川上水の成り立ちとその変遷を楽しめます。



NPO法人「としまの記憶」をつなぐ会 <http://toshima-kioku.jp/>



npo@toshima-kioku.jp

FAX.050-3488-9494



HP